医療機器認証番号：219AHBZX00003000

かんたん操作

超音波温熱

吸入器のつかいかた

ホットシャワー3

UN-133B

取扱説明書

（保証書付き）

のど・鼻両用

■この度はお買い上げいただき誠にありがとうございました。

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

■この取扱説明書は大切に保管してください。

■裏表紙が保証書になっていますので紛失しないように保管してください。

1WMPD4001781A

A&D 株式会社エー・アンド・デイ

使用の目的

- 超音波温熱吸入器ホットシャワー３（以下、吸入器と称す）は、口腔（上気道）の加湿・加温を行い、上気道を潤すためのものです。
- また、同様に鼻も加湿・加温し鼻粘膜を潤し、鼻づまり、鼻炎などの不快感を改善するためのものです。

目　次

安全上のご注意<必ずお守りください>

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	説明
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されることを示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容を示します。

*1： 重傷とは失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

*3： 物的損害とは、家屋･家財および家畜･ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	説明
禁止	🚫は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
強制	●は、指示する行為の**強制**（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

◉ 一般的な注意事項

⚠ 警告

乳幼児や自分で意思表示できない人には使用しない

※ 守らないと、やけど・ケガ・事故の原因になります。

ゼンソクの人、または医師の治療を受けているときは、必ず医師と相談のうえ使用する

※ 守らないと、体調不良の原因になります。

濡れた手で、電源プラグのコンセントへの抜き差しをしない

※ 守らないと、感電・やけど・ケガ・事故の原因になります。

⚠ 注意

吸入以外の目的で使用しない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

直射日光が長時間あたる場所で使用しない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

使用中に吸入器本体およびカートリッジを揺らしたり、傾けたりしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

吸入液カップ底部のフィルムをつぶしたり傷つけたりしない

※ 守らないと霧の量が減ったり霧が出なくなることがあります

携帯電話など、電磁波を発生する機器を近づけない

※ 守らないと、誤作動の原因になります。

AC100V 以外の電源では使用しない

※ 守らないと、火災・誤作動の原因になります。

⚠注意

禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しない

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

電源コードの上に重いものをのせたり、挟み込んだりしない

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

霧化タンクの底部（銀色の部分）と吸入液カップの底部（振動膜）を押したり傷つけたりしない

※ 守らないと、故障の原因になります。

吸入液には水道水または生理食塩水を使用し、薬液は使用しない

※ 守らないと、故障や健康を害する原因になります。

生理食塩水を作るときは、食塩の分量を間違えない

※ 守らないと、効力が失われるばかりでなく、健康を害する原因になります。

霧化タンクには、絶対に生理食塩水を入れない

※ 守らないと、故障の原因になります。

吸入液の量を間違えない

※ 守らないと、吸入液があふれたり、霧の出が悪くなる原因になります。

他の医療機器や器具と接続しない

※ 守らないと、事故の原因になります。

分解禁止

改造や修理を行わない

※ 守らないと、保証の対象外になるばかりか、火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

強制

子どもや身体の不自由な人がこの吸入器を使用する場合は、必ず補助をする人が付き添う

※ 守らないと、やけど・ケガ・事故・故障の原因になります。

身体に異常（鼻粘膜や口腔内、耳の炎症など）がある場合は、必ず医師に相談のうえ使用する

※ 守らないと、体調不良の原因になります。

しばらく使用しても効果が表れない場合には、医師または専門家に相談する

※ 守らないと、体調不良の原因になります。

傾斜、振動、衝撃などのない場所で使用する

※ 守らないと、やけど・ケガ・事故・故障の原因になります。

ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気のない場所で使用する

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

使用中に身体に異常を感じたときは、速やかに使用を中止する

※ 守らないと、体調不良の原因になります。

各スイッチが正常に作動するか確認する

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

しばらく使用しなかった場合は、よく清掃してから使用する

※ 守らないと、カビや雑菌が繁殖し、健康を害する原因になります。

ヒーターガードを必ず装着する

※ 守らないと、霧が温まらなくなります。また、ヒーターが露出して火災・やけどの原因になります。

⚠ 注意

カートリッジカバーを必ず装着する

※ 守らないと、吸入液が周囲に飛散します。

送風ファンは、しっかりと奥まで取り付けて固定する

※ 取り付けがゆるいと、送風ファンがカートリッジカバーにあたり、送風ファンの回転を妨げる原因になります。

生理食塩水は、必ず水道水で作る

※ 守らないと、効力が失われるばかりでなく、健康を害する原因になります。

寒冷地などで、吸入液、霧化タンクに入れる水道水が非常に冷たい場合は、室温になじませるため、しばらく放置してから使用する

※ 守らないと、霧化量が減少する原因になります。

カートリッジを吸入器本体に取り付けるときは、電極に汚れや異物が付着していないか確認する

異物や汚れがあると動作エラーとなり、ブザー（警告音）が連続的に鳴り噴霧しません。

※ 守らないと、故障の原因になります。

吸入は一回５分以内とし、続けて使用する場合は二回までとする

※ 守らないと、低温やけどの原因になります。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

※ 守らないと、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを手で持って抜く

※ 守らないと、断線による感電・火災の原因になります。

⚠ 注意

電源プラグを抜く

使用中に吸入器本体およびカートリッジが転倒した場合は、使用を中止して電源プラグを抜く

※ 守らないと、感電の原因になります。

停電の時は、速やかに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜く

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

極端に高温になったり、焦げ臭くなったり、動かなくなった場合は、電源コードをコンセントから抜き、速やかに使用を中止する

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

発火注意

電源プラグは、容易に抜けないように正しく確実に接続する

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

しばらく使用しなかった吸入器を使用するときは、吸入器が正常に作動することを確認する

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

高温注意

口、鼻が熱いと感じる場合は、吸入マスクから口、鼻を離す

※ 守らないと、低温やけどの原因になります。

吸入液および霧化タンクの水道水にお湯を使用しない

霧の温度が高くなります。

※ 守らないと、やけど・故障の原因になります。

◉ お手入れ・保管の注意事項

⚠ 注意

禁止

吸入器本体およびカートリッジは、水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

ベンジン、シンナーなどで吸入器を清掃しない

※ 守らないと、故障・変形・変色の原因になります。

熱湯で煮沸消毒しない

※ 守らないと、故障・変形・変色の原因になります。

強制

使用後は、吸入器本体・カートリッジ（特に電極）、水量センサ、霧化タンク底部（銀色の部分）を清掃し、乾燥させてから保管する

※ 守らないと、故障の原因になります。

子どもの手の届かない場所に保管する

※ 守らないと、ケガ・事故・故障の原因になります。

一週間に一度、送風ファンを取り外して水道水ですすぐ

※ 守らないと、故障の原因になります。

高温注意

使用後は、電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷めてから保管する

※ 守らないと、火災・やけどの原因になります。

お手入れのときは、使用後 15 分以上放置し、ヒーターが完全に冷めたことを確認する

※ 守らないと、やけどの原因になります。

確認しましょう

そろっていますか？

はじめに、次のものがそろっているか確認してください。
万一、不足がある場合は、ご購入の販売店または弊社お客様相談センター（**0120-514-016**）にご相談ください。

1 吸入器本体

2 吸入マスク

3 計量スプーン

4 カートリッジ

5 カートリッジカバー

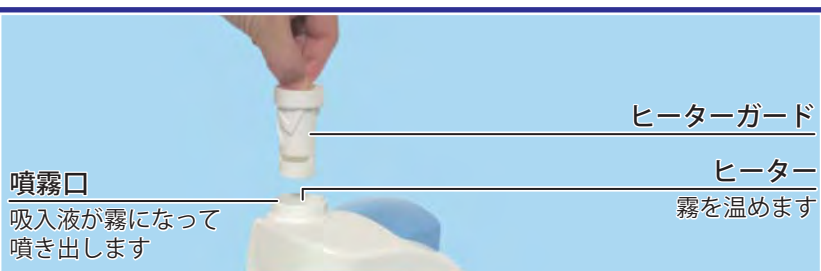
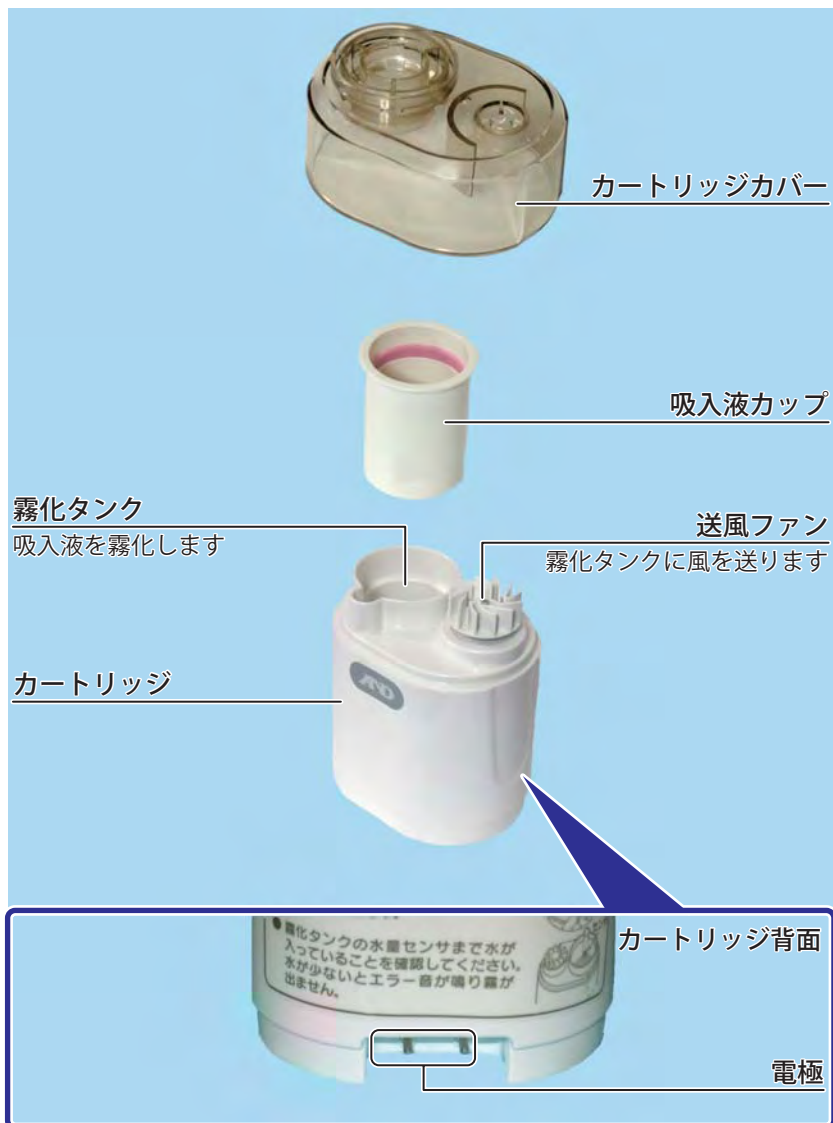
6 ヒーターガード

7 吸入液カップ

8 取扱説明書（保証書付き）・添付文書

各部のなまえ

吸入器本体

カートリッジカバー
吸入液カップ
霧化タンク
吸入液を霧化します
送風ファン
霧化タンクに風を送ります
カートリッジ
カートリッジ背面
電極

特徴としくみ

吸入器の特徴

この吸入器は、圧電セラミックを利用した超音波振動により、一様な霧粒子を作り出しています。

● **鼻やのどの広い範囲を潤すことができます。**

また、霧の送風経路が渦巻状になっており、渦状になった霧が吸入マスク全体からやさしく吹き出します。

● **鼻やのどに霧が一様に沈着しやすくなります。**

お知らせ

● この吸入器は、2箇所（吸入液カップ、霧化タンク）に水を入れる構造になっています。

● 霧化タンクには、必ず水道水を入れてください。

1 吸入液カップ

水道水、または生理食塩水を入れます。

吸入液カップ

2 霧化タンク

水道水を入れます。

霧化タンク

吸入器のしくみ

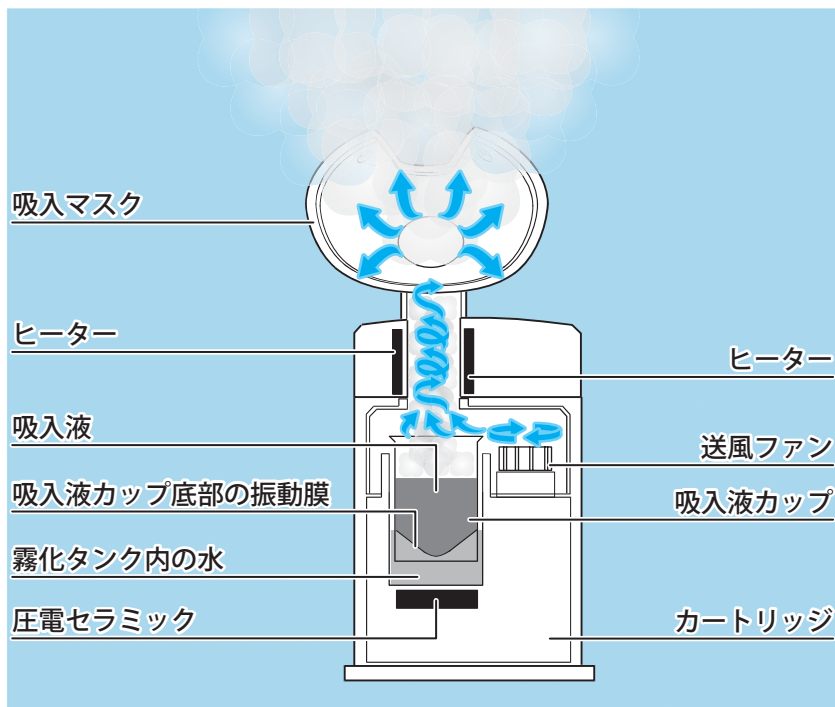
霧化の原理

● 霧化タンク底部の圧電セラミックで発生した超音波振動が、

圧電セラミック ➡ 霧化タンク内の水 ➡ 吸入液カップ底部の振動膜 ➡ 吸入液

の順に伝わり、吸入液が霧になります。

● 霧は、吸入器本体のヒーターを通過するときに温められ、吸入マスクから噴き出されます。

内部のしくみ（正面図）

ご使用の前に

準備する

1 吸入器本体からカートリッジを取り外す

カートリッジを手前に引き抜いてください。

2 カートリッジカバーを取り外す

3 カートリッジから吸入液カップを取り出す

4 各部品をすすぐ

ヒーターガード、カートリッジカバー、吸入液カップ、吸入マスクを水道水ですすいでください。カートリッジの霧化タンク内も吸入液カップなどで水道水を注ぎいれてすすいでください。

⚠ 注意

強制

吸入器本体およびカートリッジは、水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

送風ファンは、しっかりと奥まで取り付けて固定する

※ 取り付けがゆるいと、送風ファンがカートリッジカバーにあたり、送風ファンの回転を妨げる原因になります。

5 送風ファンを確認する

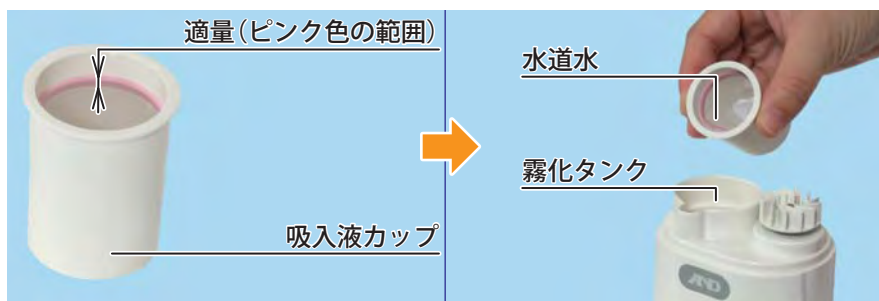
指で送風ファンを回転（1～2回）させて、回ることを確認してください。

お知らせ

● 生理食塩水が送風ファンに付着して乾燥すると、塩の結晶が送風ファンの回転を妨げることがあります。

準備する（つづき）

6 霧化タンクに水道水を入れる

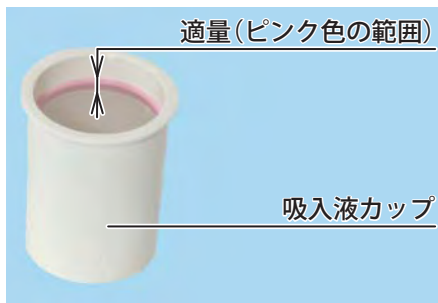
吸入液カップで適量（ピンク色の範囲）を測り、
霧化タンクに入れてください。

お知らせ

● 吸入液カップ内側のピンク色のラインが適量範囲です。

霧化タンク内の水量センサが、水道水に浸かっていることを
確認してください。

お知らせ

● 霧化タンクには、必ず水道水を入れてください。

7 吸入液カップに吸入液を入れる

お知らせ

- 吸入液カップ内側のピンク色のラインが適量範囲です。
- 吸入液には、水道水または生理食塩水を使用してください。
- 水道水でむせてしまう方は、生理食塩水を使用してください。
  （☞ 12 ページ）

8 吸入液カップを取り付ける

吸入液を入れた吸入液カップを、水道水を入れた霧化タンクに取り付けてください。

お知らせ

- 霧化タンクに水道水を入れ忘れたり、量が少ない場合は、ブザー（警告音）が「ピピピ・・・」と断続的に鳴ります。

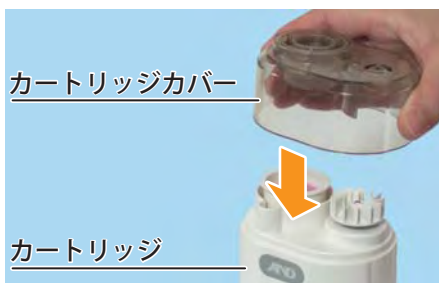
準備する（つづき）

9 カートリッジカバーを取り付ける

⚠ 注意

強制

カートリッジカバーを必ず装着する

※ 守らないと、吸入液が周囲に飛散します。

生理食塩水の作りかた

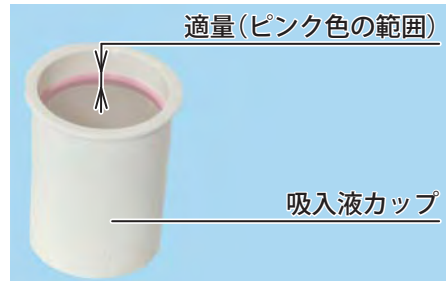
生理食塩水は、人体の塩分濃度とほぼ同じ約 0.9%の食塩水です。

1 吸入液カップに水道水を入れる

適量（ピンク色の範囲）

吸入液カップ

お知らせ

- 吸入液カップ内側のピンク色のラインが適量範囲です。

2 コップなどの容器に移す

お知らせ

- 吸入液カップの底部（振動膜）を傷つけないようにするために、必ずコップなどの容器に移してください。

3 食塩を入れる

付属の計量スプーンで、すりきり一杯（0.16g）の食塩を入れて、よくかき混ぜてください。

計量スプーン

お知らせ

- 食塩の分量を間違えないようにしてください。

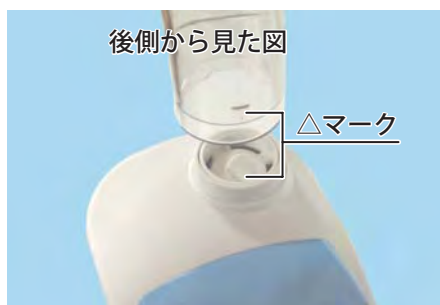
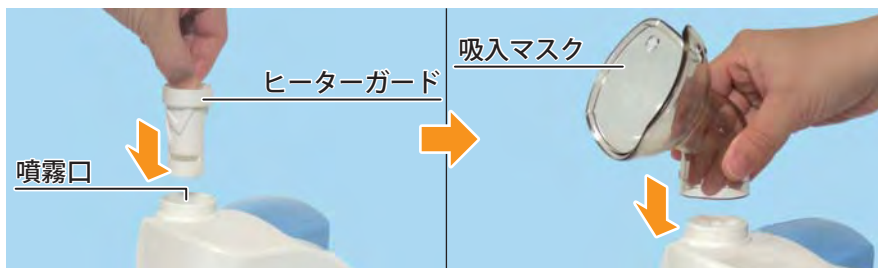
準備する（つづき）

吸入器本体を準備する

1 ヒーターガードと吸入マスクを取り付ける

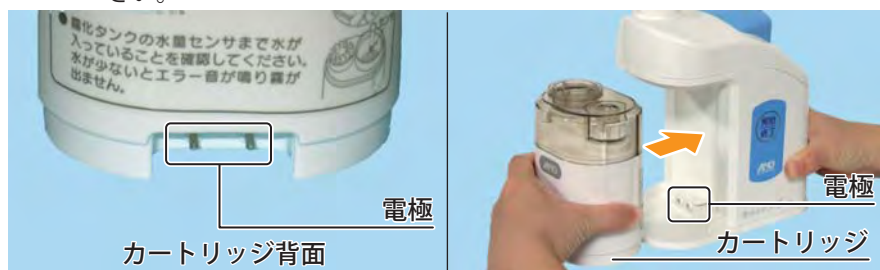
ヒーターガードと吸入マスクの△マークを合せるように
取り付けてください。

⚠ 注意

強制

ヒーターガードを必ず装着する

※ 守らないと、霧が温まらなくなります。また、ヒーターが露出してやけど・火災の原因になります。

2 カートリッジを取り付ける

カートリッジの電極を、吸入器本体の電極にしっかりと差し込んでください。

⚠ 注意

強制

カートリッジを吸入器本体に取り付けるときは、電極に汚れや異物が付着していないか確認する

異物や汚れがあると動作エラーとなり、ブザー（警告音）が連続的に鳴り噴霧しません。

※ 守らないと、故障の原因になります。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 警告

感電注意

濡れた手で、電源プラグをコンセントから抜き差ししない

※ 守らないと、感電・やけど・ケガ・事故の原因になります。

使いかた

吸入する

⚠ 警告

乳幼児や自分で意思表示できない人には使用しない

※ 守らないと、やけど・ケガ・事故の原因になります。

″開始″から″終了″までの流れ

開始	予熱 15秒間	噴霧 5分間	終了
	噴霧開始合図 ピピッ	噴霧中間合図（2分30秒） ピピッ	噴霧終了合図 ピー
	点滅	点灯	消灯

1 開始／終了スイッチを押す

開始／終了スイッチが、
ゆっくりと 15 秒間点滅し、
ヒーターが予熱されます。

予熱が完了すると、点滅から
点灯に変わります。
同時に、送風ファンが回転を
はじめ、噴霧を開始します。

お知らせ

- 噴霧開始、噴霧中間（噴霧開始から 2 分 30 秒）、噴霧終了（噴霧開始から 5 分）時にブザーが鳴ります。

2 吸入する

吸入マスクに口を近づけて（密着はさせません）、
ゆっくりと吸入してください。

お知らせ

- 5 分間、噴霧します。

吸入する（つづき）

⚠注意

使用中に身体に異常を感じたときは、速やかに使用を中止する
※ 守らないと、体調不良の原因になります。

口、鼻が熱いと感じる場合は、吸入マスクから口、鼻を離す
※ 守らないと、低温やけどの原因になります。

お知らせ

- ５分が経過するとブザーが鳴り、開始／終了スイッチが消灯して、噴霧が終了します。
- 途中で噴霧を終了したいときは、開始／終了スイッチを押してください。

霧の温度

霧の温度は、気温 23℃、水温（吸入液、霧化タンクの水道水）15℃で約 43℃になるように設定しています。

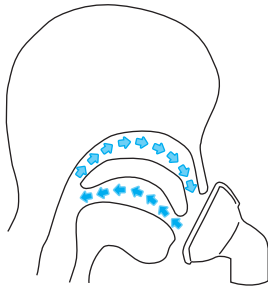
⚠注意

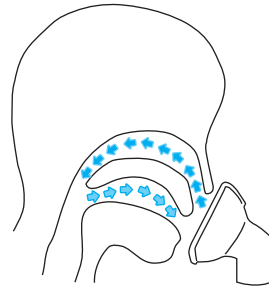
吸入液および霧化タンクの水道水にお湯を使用しない
霧の温度が高くなります。
※ 守らないと、やけど・故障の原因になります。

お知らせ

- 水温が低い場合は、霧の温度が低くなることがあります。室温になじませてから使用するようにしてください。ヒーターが温まるまで霧の温度が低い場合があります。

吸入方法について

＜のどをうるおす場合＞

″口″から吸い込み″鼻″から出す

＜鼻をうるおす場合＞

″鼻″から吸い込み″口″から出す

お知らせ

● むせやすい方は、生理食塩水を使用してください。（☞ 12 ページ）

連続して使用する場合

連続して使用する場合は、残った吸入液、霧化タンク内の水を捨て、
『準備する』（☞ 7 ページ）からやり直してください。

⚠ 注意

強制

吸入は一回 5 分以内とし、続けて使用する場合は二回までとする

※ 守らないと、低温やけどの原因になります。

使い終わったら

片付ける

残った水を捨てる

⚠ 警告

濡れた手で、電源プラグのコンセントへの抜き差しをしない

※ 守らないと、感電・やけど・ケガ・事故の原因になります。

1 **電源プラグを抜く**

電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 **吸入器本体からカートリッジを取り外す**

3 **カートリッジカバーを取り外す**

4 カートリッジから吸入液カップを取り出す

5 吸入液カップに残っている吸入液を捨てる

6 霧化タンク内の水を捨てる

⚠ 注意

禁止

カートリッジ部は、水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

片付ける（つづき）

各部を拭く

⚠ 注意

使用後は、吸入器本体（特にカートリッジ電極）、水量センサ、霧化タンク底部（銀色の部分）を清掃し、乾燥させてから保管する

※　守らないと、故障の原因になります。

使用後は、コンセントから電源コードを抜いて、ヒーターが冷めてから保管する

※　守らないと、火災・やけどの原因になります。

お手入れのときは、使用後 15 分以上放置し、ヒーターが完全に冷めたことを確認する

※　守らないと、やけどの原因になります。

お知らせ

- 生理食塩水を使用した場合は、乾燥すると食塩が付着するため、ヒーターガード、カートリッジカバー、吸入カップ、吸入マスク、送風ファンを水洗いしてください。
- 生理食塩水が送風ファンに付着して乾燥すると、塩の結晶が送風ファンの回転を妨げることがあります。

1　吸入器本体から、吸入マスク、ヒーターガードを取り外す

2 吸入器本体の水滴を拭き取る

よく乾いた布で、吸入器本体、吸入マスク、ヒーターガードの水滴を拭き取ってください。また、ヒーターに付いた水滴も拭き取ってください。

3 カートリッジ部の水滴を拭き取る

吸入液カップ、霧化タンク、カートリッジカバー、カートリッジ本体に付いた水滴を、よく乾いた布で拭き取ってください。

お手入れ

各部の清掃

⚠ 注意

禁止

吸入器本体およびカートリッジは、水洗いしない
※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

ベンジン、シンナーなどで吸入器を清掃しない
※ 守らないと、変形・変色・故障の原因になります。

吸入器本体、カートリッジ、カートリッジカバー、吸入マスク、ヒーターガード、および送風ファンを熱湯で煮沸消毒しない
※ 守らないと、変形・変色・故障の原因になります。

強制

使用後は、吸入器本体（特にカートリッジ電極）、水量センサ、霧化タンク底部（銀色の部分）を清掃し、乾燥させてから保管する
※ 守らないと、故障の原因になります。

子どもの手の届かない場所に保管する
※ 守らないと、ケガ・事故・故障の原因になります。

一週間に一度、送風ファンを取り外して水道水ですすぐ
※ 守らないと、故障の原因になります。

高温注意

使用後は、コンセントから電源コードを抜いて、ヒーターが冷めてから保管する
※ 守らないと、火災・やけどの原因になります。

お手入れのときは、使用後 15 分以上放置し、ヒーターが完全に冷めたことを確認する
※ 守らないと、やけどの原因になります。

● 吸入器本体、カートリッジ各部の清掃には、やわらかい布を水に湿らせてよくしぼったものを使用し、汚れをていねいに拭き取ってください。

● 吸入器本体とカートリッジの電極部の水滴、汚れは綿棒などで拭き取ってください。

お知らせ

● カートリッジカバー、吸入マスク、ヒーターガード、送風ファンは、家庭用中性洗剤で洗えます。ただし、吸入液カップは破れやすいため、つけおき洗いしてください。

どうしてかな？と思ったら

薬液は使用できますか？

使用できません。

故障や動作不良の原因になりますので、使用できません。

ミネラルウォーターは使用できますか？

使用できません。

故障や動作不良の原因になりますので、吸入液、霧化液ともに使用できません。また、地下水も同様に使用できません。

動作エラーのときは

開始／終了スイッチが早く点滅したときは、動作エラーをおこしています。
ブザー（警告音）の鳴りかたに応じて、下記を参考に対処してください。

ブザー（警告音）の鳴りかた	原　因	内容・対処のしかた
「ピピピピピ・・・」と断続音が鳴る	霧化タンクの水道水が不足している	霧化タンクの水道水を適量にしてください。 （☞？？ページ）
「ピーーーー」と連続音が鳴る	カートリッジと吸入器本体がつながっていない	カートリッジと吸入器本体を正しくつないでください。 （☞？？ページ）
	吸入器本体またはカートリッジの電極部が汚れている	吸入器本体およびカートリッジの電極部の汚れ、異物を確認してください。 （☞？？ページ）

故障かな？と思ったら

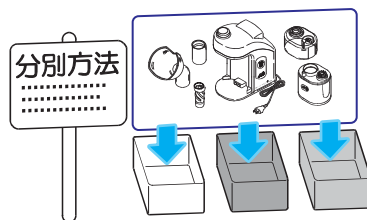
こんなとき	ここを確認	対処のしかた
開始／終了スイッチを押してもスイッチ部が点滅（点灯）しない	電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか？	電源コードを差しなおしてください。 (☞ 14 ページ)
・開始／終了スイッチを押してから 15 秒以上たっても霧が出ない ・霧の出が悪い	・吸入液は入っていますか？ ・吸入液は適量ですか？	吸入液を入れなおしてください。 (☞ 9 ページ)
	・霧化タンクの水道水は入っていますか？ ・霧化タンクの水道水は適量ですか？	霧化タンクの水道水を入れなおしてください。 (☞ 9 ページ)
	吸入液または霧化タンクの水道水の温度が低すぎませんか？	しばらく放置して、水温が室温近くになってから使用してください。
	送風ファンがカートリッジカバーに当たっていませんか？	送風ファンをしっかりと押し込んでください。 (☞ 8 ページ)
霧の温度が低すぎる	ヒーターガードを取り付けていますか？	ヒーターガードを取り付けてください。 (☞ 13 ページ)

こんなとき	ここを確認	対処のしかた
ヒータ部から「ジュッ」と音がする	–	異常ではありません。 水滴が蒸発する音です。
吸入器本体が温かい	–	異常ではありません。 電化製品のため、動作中は多少温度が上がります。
モータ音が気になる	–	異常ではありません。 個体差はありますが、若干の音は発生します。

お知らせ

● 上記の確認をしても異常がある場合は、ご購入の販売店もしくは弊社お客様相談センター（0120-514-016）に修理を依頼してください。

廃棄について

● 吸入器本体、消耗品、残留物などを廃棄する場合は、各自治体の分別方法に従って廃棄してください。

別売品（付属品）

吸入マスク
UN-133-01

吸入液カップ
UN-133-02

送風ファン
UN-133-04

計量スプーン
UN-133-05

仕様について

仕　様

項目	内容
販売名	超音波温熱吸入器　ホットシャワー3　UN-133B
型名	UN-133B
定格電圧	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	90W
定格時間	短時間定格　5分間
霧化量	約1.8mL/分
霧化粒径	約5 μm
霧温度	約43℃（気温23℃　水温15℃）
外形寸法	幅100（mm）×高さ266（mm）×奥行き166（mm）
本体質量	約1.5kg
付属品	取扱説明書（保証書付き）、添付文書、 計量スプーン（別売品：UN-133-05）

項目	内容
医療機器認証番号	219AHBZX00003000
類別	機械器具76 医療用吸入器
一般的名称	家庭用超音波吸入器
医療機器分類	管理医療機器
製造販売業者	株式会社 エー・アンド・デイ 住所：〒364-8585　埼玉県北本市朝日1-243 電話：0120-514-016（お客様相談センター）

EMC適合　本製品はEMC規格JIS T 0601-1-2およびJ55014-1に適合しています。

※お断り無く仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

保証規定

● **次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。**

1　誤ったご使用またはお取り扱いによる故障または損傷
2　保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷
3　不適切な修理・改造および分解、その他のお手入れによる故障または損傷
4　火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷
5　保証書のご提示がない場合
6　保証書にご購入年月日、保証期間、ご購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
7　ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換

● **保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。**

● **本保証書は日本国内においてのみ有効です。**
This warranty is valid only Japan.

※　ご購入店または弊社営業所にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様がご負担願います。

保証書

このたびは、超音波温熱吸入器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

この製品が、取扱説明書に基づく通常のお取り扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じた場合は、本保証書を現品に添えてご購入の販売店または最寄りの弊社・営業所にご持参願います。保証規定に基づき、保証期間内に限り無償で修理・調整いたします。

項目	内容
品名	エー・アンド・デイ　超音波温熱吸入器　ホットシャワー３
型名	UN-133B
お客様お名前	様
ご住所	□□□-□□□□
ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	（必ず販売店にて記入・捺印していただいてください。） 印
保証期間	ご購入日より１年間

株式会社 エー・アンド・デイ

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 3-23-14（ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 5F）

製品のお問い合わせはお客様相談センターへ

【受付時間】月～金（祝日を除く）　AM 9：00 ～ 12：00
PM 1：00 ～　5：00

0120-514-016

〒364-8585
埼玉県北本市朝日 1-243　（株）エー・アンド・デイ FE 課　修理係